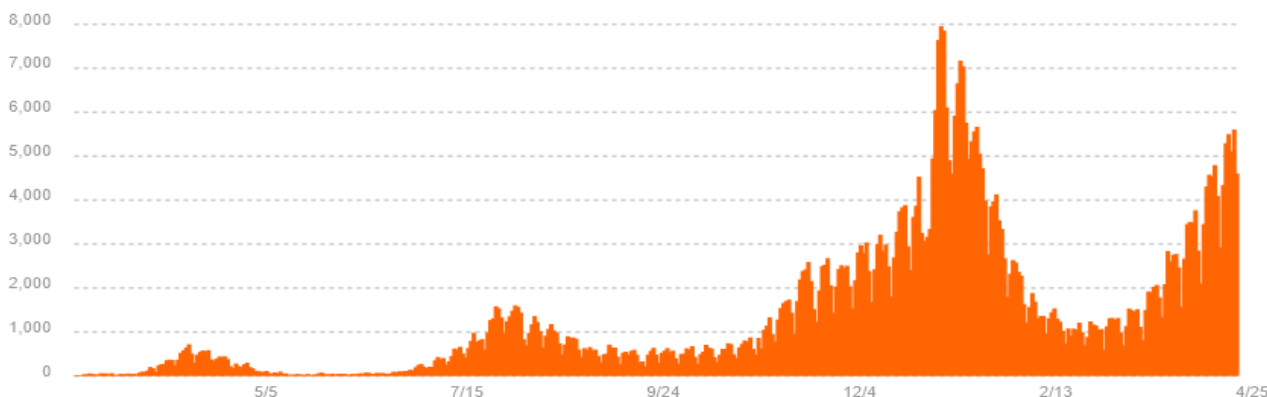




感染対策だより

院内感染対策委員会発行:第 61 号 令和 3 年 5 月

新型コロナウイルス感染症流行中 一第 4 波一



全国的な発生数から第 4 波となりました。4 月 25 日～5 月 11 日の予定で主要都市において 3 回目の緊急事態宣言となりました。少しコロナ慣れしているのか 1 回目・2 回目のときより通勤や通学、外出を控える人が少ないようなので効果にどのように影響するのか心配です。

長崎県も同じような波になっています。



※現在感染者数は、累計感染者数から退院者数と死亡者数を減じた数値です。前日比、新規感染者数は更新日時時点での数値です

年末年始で第 3 波が来て、やっと少し落ち着いたところですぐ第 4 波。

うつらないためには、同居以外の人と食事しない。同居以外の人とはマスクで対応する。こまめに手を洗う。目・鼻・口を触る前に手をきれいにする。お部屋は窓を開けて換気を心がけるなど基本的な対策を継続するしかありません。

最近では変異株もかなり増加しています。各株の特徴は下記の通りです。

2021年3月12日 時点の情報に基づき作成	イギリス変異株 VOC 202012/01	南アフリカ変異株 501Y.V2	ブラジル変異株 P.1	フィリピン 変異株	国内変異株
報告された国	111カ国	58カ国	32カ国	2カ国?	日本
N501Y変異 (感染力増)	○	○	○	○	x
E484K変異 (免疫逃避)	x	○	○	○	○
感染性の強さ (従来株と比較)	25~40%増加	50%増加	1.4-2.2倍増加	不明 (おそらく増加)	不明
重症化リスク (従来株と比較)	死亡率64%増加	不明	不明	不明	不明
再感染や ワクチン効果低下	不明 (一部の株で 可能性あり)	ワクチン効果 低下	従来ウイルス より25~61% 再感染リスク	可能性あり	可能性あり

感染しやすくなったり、ワクチンが効きにくいなど心配な情報もあります。

新型コロナウイルス感染症の主な経過



※現在治療にあたっている医師の知見を元に作成しています。症状や経過は個人により異なる場合があります。

変異株は高齢者や基礎疾患がない若い人でも重症化するケースがあります。

自分だけは大丈夫と思わないで、できる対策を継続して行いましょう。

従来株でも変異株でも対策は同じです。

体調が悪いと思ったら、出勤する「前」に上司に相談し、
必要な検査など検討しましょう。

新入職員研修を行いました

手袋の着脱やエプロンの着脱方法の実技を行いました。汚染面は内側に包んでいくのが感染の脱ぎ方の基本です！



手袋の外し方



①手袋の手首部分の外側をつまみ、内側に触れないように手袋をめくる。



②汚染された外表面が内側になるように中に外していく。



③外した手袋を丸めて握り、手袋を外した手先を手袋と手首の間に差し入れる。



④もう一方の手袋も中表になるようにめくりながら外し、廃棄する。

⑤手指衛生

©INFECTION CONTROL

ポスターを見て手洗いの実技や滅菌物の開封方法を学びました！



手の洗いはこちら。手のひらと手の甲でよく泡立ててから指先や爪を洗います。

手指消毒はたくさん濡れている最初に指先を消毒します。この順番の違いがポイントですね！



1 手のひら



2 手の甲



3 つめ



4 指の間



5 親指



6 手首

最後にはクイズで挙手をして知識確認を行いました。



手が挙がっている人といない人がいますね。よく復習して学んだことを自分のものにしましょう！
お疲れ様でした。

皆さんもこのクイズわかりますか？腕試し、してください！

これは何の印？

ご面会の方へ

ご面会前に、看護師まで
お声をあけてくださいませ。

住世保中央病院

ご面会の方へ

ご面会前に、看護師まで
お声をあけてくださいませ。

住世保中央病院

ご面会の方へ

ご面会前に、看護師まで
お声をあけてくださいませ。

住世保中央病院

①面会謝絶
②感染経路別予防策実施中
③誰が面会にこられたか確認するためのメッセージ

正解：②

感染経路別予防策実施中の印です。
入室前に必要な防護用具を着用してください。
面会にこられた人にも着用を指導してください。

手袋をはずした後は？

①注意してはずしたので手は汚れていないため手指衛生は省略できる
②注意してはずしたけれど、失敗したときだけ手指衛生を行う
③上手にはずせたけど手指衛生は行う

正解：③

◇はずすときに汚染している可能性
◇手袋にピンホールがある可能性
◇手袋の中の温度と湿度で細菌が増殖している可能性を考慮して必ず手指衛生を行う。

標準予防策とは？

①感染症のある患者様に適応する予防策
②感染症のない患者様にも適応する予防策
③重症の患者様に適応する予防策

正解：②

疾患の有無に関わらず、
全ての患者に対して標準的に用いる
もっとも重要で基本的な感染対策。